

話し合いが続く

【お礼の手紙の原稿】

拝啓

すがすがしい秋晴れが続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日の職場体験の際は、大変お世話になりました。体験を通して、様々なことを教えていただいた。特に、勉強になったことは、お客様に接する際の心構えについてです。体験初日の私は、お店にいらっしやっただお客様に対して、心のこもった挨拶ができませんでした。しかし、働いている皆様から「おもてなしの心」について教えてもらい、「今の笑顔、よかったよ。」などと励ましていただいたおかげで、気持ちのよい挨拶ができるようになり、体験を最後まで笑顔でやり遂げることができました。

今回の経験を、今後の中学校生活にも生かしていきたいと思えます。

朝夕涼しくなりましたが、皆様、お体を大切になさってください。

II

- (1) ① 文末表現は統一する、と学習したので、一か所直す必要がありますね。とありますが、【お礼の手紙の原稿】の中から適切でない一文節の文末表現を探し、八字で適切な文末表現に書き直さない。なお、句点も一字に数えます。(3点)

- (2) ② この手紙の最後にも書いた方がよいと思います。とありますが、この発言についての説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)
ア 直前の発言内容を自分なりの言葉でまとめている。

イ 課題点を明確にするため繰り返し質問をしている。

ウ 自分と相手の意見を比較し共通点を確認している。

エ 話し合いの話題や方向をとらえて助言をしている。

- (3) ③ 結語 とありますが、【お礼の手紙の原稿】の空欄IIにあてはまる、拝啓という頭語に対応する結語を、漢字二字で書きなさい。(2点)

- III 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

私たちは「自然」と言うとき、「手つかずの自然」「自然の脅威」などと表現する。ここにはたしかに、人間の文化の影響を受けていない自然環境、ありのままの動物や植物、山や川などの姿がイメージされているようだ。しかし翻訳研究者の柳文章やなぎふみちによると、①日本語の「自然」ということは、明治以降に英語のnatureの翻訳語として使われるようになって初めてこのような意味を獲得したという。明治以前には、自然という語は「おのずからそうになっているさま、天然のままでも人為の加わらぬさま」という意味で用いられていた。この古典的な自然の意味は、「人為」と対置されているという意味でnatureと共通している。この共通点ゆえにこの語が翻訳語として選ばれた。しかし、日本語の「自然」はもともと副詞や形容詞として使われ、人為の加わらない「状態」を示していた。つまり、名詞として自然環境そのものを表すようなことばではなかった。今でも私たちが使う「自然」ということばには、古い意味と新しい意味が混ざりあっている。私たちは、リラックスした、飾らない状態でテレビに出る芸能人を「あの人は自然体でいい」と賞賛する。その一方で、「手つかずの大自然」「自然の脅威」などという意味での新しい「自然」も、すっかり私たちに馴染なじんでいる。

つまり、日本のことを考えても、人間の文化の影響を受けていないありのままの自然環境、という意味での「自然」は、西欧からの

輸入によって成立している。それはせいぜいここ一五〇年くらいの発明であって、まったくもって「あたりまえ」ではない。一九八〇年代から九〇年代にかけての人類学は、各地の「自然と文化」という※カテゴリーに大まかに対応する概念を詳細に検討した。そして、「人間の外側にある」自然と（人間のつくりだした）文化」という分け方自体が、西洋の文化が構築したものであって、普遍的なものではないということを示していった。

自然に対する分類の多様性というとき、自然を分類する（唯一精神をもった）人間という想定がある。そこには、自然を人間の生活から分離した「手つかずの」実体と見る見方が潜んでいるのかもしれない。はたして誰にとっても、人間以外の種はただ人間に認識され、分類されるのを待っている「考えるのに適した」存在なのだろうか。むしろ人間と動物のあいだに魂の連続性を見る人たちの立場からは、動物は身体のみならず、魂の連続性を見る人たちの「存在であり行為主体なのではないか。こうした視点から、
I ではなく、種間のかかわりあい

民族誌が、あらためて今、注目を集めている。
たとえばシベリアのユカギールの狩猟採集民の世界では、人、動物、モノは魂を備え、同じ理性的能力をもつ。それぞれが異なっているのは、種ごとに固有の身体をもっているためだ。狩猟の場において狩人は、獲物であるトナカイの真似まねをして移動し、匂いを嗅ぎ、音を出すことで、同族となって彼らを惹きつけようとする。ただしそこで②完全にトナカイに変身してしまうと、人間に戻れなくなってしまう（そのような危険な事例もたくさんある）。人間としての※アイデンティティを維持したまま、一時的かつ不完全な状態で動物の身体を身にまとい、その視点を獲得することが重要なのである。

注目すべきは、こうした自然と文化、人間と他種の関係を問いな

おすさまじな最近の研究は、遠く離れた「他者の現実」について語っているのみならず、私たちの社会についても異なるものを見方を示していることだ。考えてみれば、自然を人間の生活から分離した「手つかずの」実体ではなく、人間と他種との具体的なやりとり・交渉の場ととらえるならば、③たとえ都市生活のなかでも自然はある。

私たちの多くは、決して自然豊かな環境のなかに住んでいない。また、自然についての体系化された知識をもっているわけではない。しかしそんな私たちでも、具体的な生きものや事物と絶えずやりとりしていることには変わりがない。私たちはペットと情動的な関係を築く。そこで、ユカギールの人たちと変わらず、犬になりきった声真似をして飼い犬を呼んだり、飼い主として自分と犬を差異化したりする。その一方で私たちの生活は「愛せない他者」との関係のなかにもある。たとえば私たちは、ゴミ捨て場に集まるカラスにゴミを荒らされないようにゴミ袋をきっちり縛ったり、新聞紙でゴミ袋の中身を見えなくしたりする。

このように人間が自然をどう認識し、分類するのではなく、種間のかかわりあいという観点から人間と自然の関係を見つめなおす最近の研究は、他者だけでなく、私たちの社会についても語っている。私たちの生活は犬、カラス、など複数種との関係によってこそ成立する。その複雑な絡みかちあいを解きほぐすことは、一つの自然を守る「地球市民」ではなく、多様な動植物や事物とのやりとりのなかでしか生きられない具体的な存在として、みずからとらえなおすことでもあるのだ。

人類学的に「自然」を問いなおすことは、「私たちの自然を守る」といった抽象的な環境主義のスローガンを超えて、他の多様な生物、モノと私たちの日々の具体的な関係に目を向けることである。そうした視点は、「自然保護」「多種共生」という美しいことばでは

ア 自然に関する体系化された専門的知識を得るため、インターネットで調べること。

イ 飼い主が、犬の声真似をして飼い犬を呼んだり、自分と犬を差異化したりすること。

ウ カラスにゴミを荒らされないため、ゴミ袋を縛ったり、中身を見えなくしたりすること。

エ 地球市民として「私たちの自然を守ろう」という環境主義のスローガンを掲げること。

オ 花粉から自分の身を守るために、マスクを着用したり、目薬をさしたりすること。

問5 ④ 問いを生みだすためのあらたな視角を与えてくれるはずだ。とありますが、人類学は、どのような視角を与えてくれると筆者は述べていますか。次の空欄にあてはまる内容を、**普遍的**、**具体的**の二つの言葉を使って、四十五字以上、五十五字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。(7点)

Answer box with a grid and a vertical line. The number 45 is written in the top left corner, and 55 is written in the middle of the vertical line. The text says: "という視角を与えてくれる。"

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(……)の左側は口語訳です。(12点)

※大齋院より ※上東門院、「つれづれ慰みぬべき物語やさぶら

退屈を紛らすことができる物語がございませうか

ふ。」と尋ね参らせさせたまへりけるに、紫式部を召して、「何をか

参らすべき。」とおほせられければ、「めづらしきものは何かはべる

べき。① 新しく作りて参らせたまへかし。」と 申しければ、「作

けるとこそ、いみじくめでたくはべれといふ人はべれば、また、

いまだ宮仕へもせで里にはべりける折、かかるもの作り出でたりけ

るによりて、召し出でられて、それゆゑ紫式部といふ名はつけたり、

とも申すは、③ いづれかまことにてはべらむ。

(注) ※大齋院……村上天皇の娘。選子内親王。

※上東門院……一条天皇の中宮藤原彰子。

※『源氏』……『源氏物語』のこと。

問1 いふ人はべれば とありますが、この部分を「現代仮名遣

い」に直し、すべてひらがなで書きなさい。(3点)

問2 ① 新しく作りて参らせたまへかし。は「新しく作って差し

上げなさいませ」という意味ですが、物語を新しく作ると考えたのは、どうしてですか。次の空欄にあてはまる内容を、十字以内で書きなさい。(3点)

退屈を紛らす物語として [] から。

問3 ② 申しければ、の主語として最も適切なものを、次のア～エ

の中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

ア 大齋院 イ 上東門院

ウ 紫式部 エ 作者